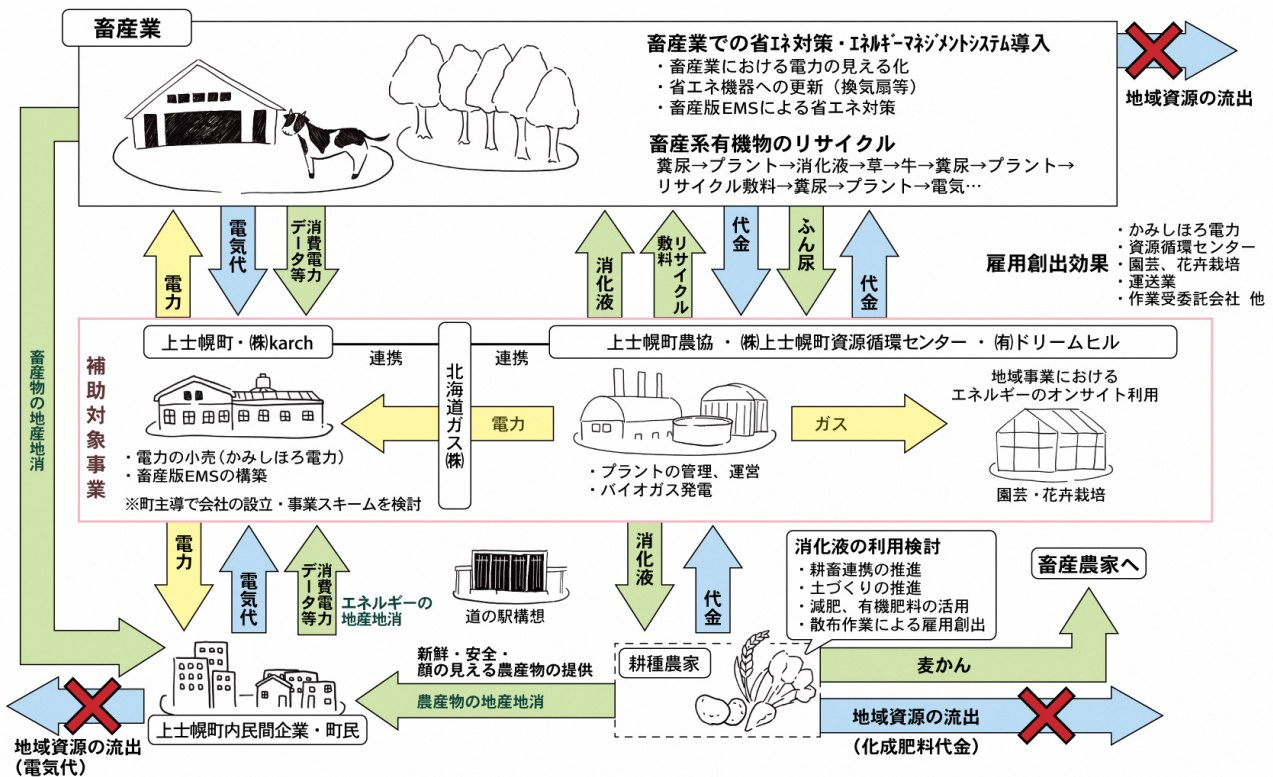


1 事業の背景と特徴

- ・上士幌町は、国内でも有数の大規模酪農地帯であることから、家畜ふん尿を主体としたバイオマスが多量に産出される。そこで、家畜ふん尿を利用したバイオガスプラントを整備し、消化液と再生可能エネルギーを生産する。
- ・地域エネルギー会社を設立し、酪農家や一般住宅、事業所等へバイオマス電力を供給する。
- ・畜産バイオマス事業に関連した新産業と雇用の創出により、資金を地域内で循環させ、地域活動の活性化を図る。

2 実施体制及び関係者連携

- ・「上士幌町農業再生協議会」で進めていたバイオガスプラント整備から取組が発展し、町内農業関係者に加え、バイオガスプラント運営会社やエネルギー事業者などが参画し、「再生可能エネルギー地産地消のまちづくりコンソーシアム」を形成した。
- ・設立した地域エネルギー会社((株)karch)による電力の地産地消の事業スキームを実現している。
- ・各バイオガスプラントは、固定価格買取制度(FIT)で電力を全量売電しているが、北海道ガス(株)が再生可能エネルギー電気特定卸供給契約※により購入して(株)karchへ卸売り供給、(株)karchが電力小売事業(かみしほろ電力)として町内の公共施設等に売電している。
- ・北海道ガス(株)がインバランス(電力の需要量と供給量の差)を調整する役割も担い、電力の安定供給に寄与している。



※再生可能エネルギー電気特定卸供給契約とは

小売電気事業者などが、北海道電力ネットワーク(株)の供給区域内に接続する、特定の再生可能エネルギー発電設備で発電した電気の卸供給を希望する場合に、卸電力取引市場を経由せずに、送配電ネットワークを介して、当該契約者に直接卸供給することをいう。